

# 滋賀県商工会女性部連合会 ビジョン・アクションプラン

(令和元年度～5年度)

## 1. 策定の目的

商工会女性部は、商工業に携わる女性として資質向上に努めるとともに、女性の特性を生かして、地域の活性化に大きく貢献してきました。

しかしながら、私たちを取り巻く環境は、都市部と地方との経済的地域間格差の拡大や地方における人口減少・高齢化の進行、地域コミュニティの弱体化等、厳しい状況に直面しています。

こうした中、地域の自立、活性化に向けた商工会女性部への期待は大きく、地域商工業の発展、安全安心な暮らし、地域コミュニティや福祉の増進などの担い手として、地域の中で重要な役割を果たしていくことが求められています。

一方で、近年商工会女性部では、部員数の減少や商工会本会を含めた財政状況の悪化等により組織、財政基盤が年々厳しい状況となっており、女性部自身の活動に大きな影響を及ぼしていることは事実です。商工会女性部は地域活性化の原動力となりつつも、自らの組織の活性化を図っていかなくてはなりません。

そのような中、県女性連と商工会女性部は、地域における商工会女性部の役割を再認識するとともに、これまでの事業活動を改めて見つめなおし、地域経済の活性化と女性部組織・活動の活性化につながる事業の実施を着実に進めて参ります。そのため、県女性連ではビジョン・アクションプランを策定し、商工会女性部と共に明確な将来ビジョンと行動計画を共有しながら、ともに推進していくことにより、県内商工会地域の持続的発展に繋げていきます。

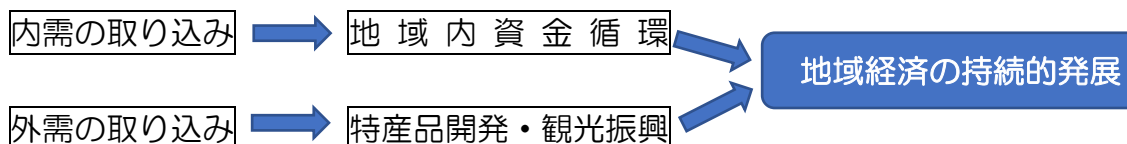
## 2. 商工会女性部のミッション（基本理念）

女性の特性をいかし、地域振興発展の良き協力者、推進者となる。  
商工女性の使命感に徹し、組織活性化の原動力となる。  
社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となる。

## 3. 滋賀県商工会女性部連合会ビジョン

- 女性ならではの手法により地域内及び商工会地域間資金循環の仕組みを創出し、発展させていきます。
- おもてなしの心をもって、観光や特産品開発等、地域資源を活かした取り組みを推進します。
- これらにより、地域の持続的な活性化はもちろん、商工会女性部組織の活性化と女性部員自らの事業の持続的発展につなげていきます。

地域の経済が発展するには・・・



## 4. 行動指針

- 県女性連の各種事業の継続と改善を図り、地域内資金循環の取り組みとして発展させていきます。
- 若手後継者等未来創造事業補助金等の施策を積極的に活用することで、地域資源活用を推進し、持続的な地域活性化に繋げていきます。
- 県女性連ビジョン・アクションプランについて、各商工会女性部と共通認識を持ち、女性部の活動方針として共有していきます。

## 5. 滋賀県商工会女性部連合会アクションプラン

3のビジョンを達成するため、4の行動指針に基づき、5年間の「県女性連アクションプラン」を以下に掲げ、実行していきます。

### ①県女性連が実施する事業の継続実施と改善

県女性連が主催し実施する「近江いいことウォーク」や本会や県青連と合同で実施する「青女合同交流研修会」、「未来創造事業研修会」等の各種事業について継続的な実施とともに、より効率的、効果的な事業の実施に努め、地域内資金循環と組織の活性化が図られるよう改善を図ります。

### ②地域経済活性化のための地域資源等を活用した取り組みの推進と実のある事業成果の創出（若手後継者等未来創造事業等の施策の活用）

各商工会女性部では、これまでも若手後継者等未来創造事業補助金等を活用し、地域資源を活用した観光や特産品開発等を行っていますが、将来目標を明確にし、より成果の見える地域経済の活性化の取り組みを展開していきます。

具体的には、特産品等の研究開発から商品化・シリーズ化への展開や、体験型・交流型等のおもてなしを活かした新たな観光資源の創出、既存資源とのパッケージ化やSNSを活用した地域の魅力発信、更には事業化等により、内・外需の取り込みを促進し、地域経済の活性化に繋げていきます。

### ③商工会女性部ビジョン・アクションプランの策定推進

県女性連のビジョン・アクションプランを各商工会女性部の活動方針として共有するとともに、各地域における商工業の持続的発展及び商工会女性部の組織の活性化がより一層図られるよう、各商工会女性部のビジョン・アクションプランの策定を支援してまいります。特に上記②を全県一体となって推進するため、県女性連アクションプランで全体での数値目標を掲げるとともに、各商工会女性部でもこの目標を共有し、それぞれのアクションプランに反映することで、相互に連動した計画の策定と遂行を図っていきます。

### ④SDGsに基づいた女性活躍と地域貢献活動の推進

県女性連では、これまで全女性連の100円災害積立基金への協力やチャリティ募金の実施及び福祉団体への寄付等、継続的な福祉活動を通して社会一般の福祉の増進に努めてきました。

今後も引き続きこれらの活動を継続するとともに、現在、国、県が推進している持続可能な開発目標『SDGs』への理解を深め、女性の見地から、個人そして女性部が、持続可能な社会づくりのために何ができるかを学び、考えることにより、地域におけるより一層の女性活躍の推進と地域貢献活動の実践に繋げていきます。

## 6. アクションプランの検証・見直しについて

- ①各年度半期に一度、検証委員会による検証を行い、県女性連アクションプランの遂行状況のチェック及び期末の検証を行います。また、若手後継者等未来創造事業を活用した女性部の取り組みについても検証委員会により事業評価を行い、アドバイスや改善提案を行います。
- ②県女性連アクションプランについて、検証委員会での検証をもとに策定委員会においてプランの見直し、修正を行っていきます。

## 7. 策定・検証委員会及び県女性連アクションプランの行程表

別紙参照

## 8. 成果指標について

各年度又は事業実施期間における、県女性連、商工会女性部の成果事例（取組成果事例件数・成功事例件数）を測定し、目標達成度を把握する。

成果事例の年度目標

	目 標 値				
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
成果事例の収集					
取組成果事例件数 (各年度)	10件	20件	30件	35件	40件
内、成功事例件数 (5年累計)	-	-	-	-	30件

取組成果事例件数：特産品・観光開発等の調査研究・商品化、地域内資金循環等の取組件数（若手後継者等事業の取組件数を含む）

成功事例件数：最終的に商品化、事業化又は事業活用されたもの等、新規創出の成功件数

\*目標件数は、毎年検証を行い、上方修正を重ねています。

\*2022年度に「住民認知度調査」を行い、商工会女性部及び女性部事業に対する住民の認知度・評価を測定し、当計画の検証や次期5年計画の策定に係る参考資料とする。

令和元年7月23日策定  
令和2年4月6日改正  
令和3年4月15日改正  
滋賀県商工会女性部連合会

7. 策定・検証委員会及び県女性連アクションプランの行程表

年度	策定・検証		県女性連アクションプラン			
	アクションプラン策定委員会	アクションプラン検証委員会	①県女性連事業の継続と改善の検討	②地域資源を活用した取り組みの推進と事業成果の創出（若手後継者等未来創造事業等の活用）	③商工会女性部ビジョン・アクションプランの策定支援	④SDGsに基づいた女性活躍と地域貢献活動の推進
2019年度	アクションプラン策定委員会設置 アクションプランの策定 必要に応じ、次年度プランの修正	アクションプラン検証委員会設置 プランの検証実施（年2回）	事業の継続実施と改善	事業の実施と検証	各商工会女性部ビジョン・アクションプランの策定支援 プランの遂行・検証（フォロー）	福祉事業の継続実施
2020年度	必要に応じ、次年度プランの修正	検証実施（年2回）	同上	同上	プランの遂行・検証（フォロー）	福祉事業の継続実施 SDGsの研修と地域貢献活動の推進
2021年度	必要に応じ、次年度プランの修正	検証実施（年2回）	同上	同上	同上	同上
2022年度	必要に応じ、次年度プランの修正	検証実施（年2回）	同上	同上	同上	同上
2023年度	次期アクションプラン策定	検証実施（年2回）	同上	同上	同上	同上